

## ウェビナー開催

# 摂食嚥下訓練の実際

～自身の嚥下訓練手技を運動学的視点から検証しよう～

柴本 勇先生（聖隷クリストファー大学）

2020  
8/9 (日)  
14:00～15:30  
(13:30～入室可)

感染状況を鑑み、Web方式（Zoom）に変更させていただきます。ご理解の程お願いいたします。  
お申し込み後、Zoomの詳細を連絡させていただきます。

申込方法 当会ホームページ研修会申込みフォームからお申し込みください。

<https://jsslht.web.fc2.com/workshop.html>



### 研修内容

自身の嚥下訓練手技について筋活動を含めた運動学的視点から振り返り、目的に合致した教示・運動ができていないかを振り返ります。今回は、ウェビナーにて実施するため、①求めている運動は何か、②曖昧となりやすい点、③求めている運動を引き出す具体的手技の実例、④明らかに異なる手技について、リアルタイムに映像を映しながら説明します。よい例やそうでない例を両方見ることによって、目的に合致している訓練法を学びます。

【受講料】 無料

【対象】 言語聴覚士 ほか

### 1. 舌骨上筋群筋力向上を目的とした訓練手技

①頭部挙上訓練 ②嚥下おでこ体操 ③開口訓練 ④舌挙上訓練  
①～④について筋電計を用いて、具体的手技と求めている成果が得られるか実演をしながら説明します。

### 2. 努力嚥下

イメージがわきにくい手技について、声掛けによってどのように筋活動が異なるかを実演しながら説明します。

### 3. メンデルゾーン手技

最終的に何を求めるかを運動学的に実演しながら説明します。

### 4. 姿勢（体幹・頸部）の違いによる筋活動の違い・舌圧の違い

姿勢調整は食物の動きの視点から調整することが多いですが、運動パフォーマンスという視点ではどうでしょうか。それぞれの長所と短所を理解して選択できるよう、両者を検証し説明します。